



平成 30 年 11 月 9 日

各 位

会社名 日本山村硝子株式会社
代表者名 代表取締役 社長執行役員 山村 幸治
(コード番号 5210 東証第一部)
問合せ先 経理部長 佐貫 正義
(TEL 06-4300-6000)

平成 31 年 3 月期第 2 四半期連結累計期間における業績予想と実績との差異 に関するお知らせ

平成 30 年 5 月 11 日に公表しました平成 31 年 3 月期（平成 30 年 4 月 1 日～平成 31 年 3 月 31 日）の第 2 四半期連結累計期間の業績予想と、本日公表の実績に差異が生じたので、下記のとおりお知らせいたします。

記

1. 第 2 四半期連結累計期間の予想と実績の差異（平成 30 年 4 月 1 日～平成 30 年 9 月 30 日）

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 四半期純利益	1 株当たり 四半期純利益
前回発表予想 (A)	百万円 36,000	百万円 200	百万円 400	百万円 100	円 銭 9.53
今回発表実績 (B)	36,424	559	950	471	44.90
増減額 (B-A)	424	359	550	371	—
増減率 (%)	1.2	180.0	137.6	371.2	—
(ご参考) 前期第 2 四半期実績 (平成 30 年 3 月期第 2 四半期)	35,824	1,275	1,730	△378	△36.05

(注) 当社は、平成 30 年 10 月 1 日付で普通株式 10 株につき 1 株の割合で株式併合を行っております。前連結会計年度の期首に当該株式併合が行われたと仮定して、1 株当たり四半期純利益を算定しております。

2. 差異および修正の理由

第 2 四半期連結累計期間は、当社ガラスびんカンパニーとプラスチックカンパニーの生産・販売が計画を上回ったことや国内子会社における溶解窯の更新に係る費用が当初予想を下回ったこと等により、営業利益、経常利益、親会社株主に帰属する四半期純利益は当初予想を上回りました。

なお、平成 31 年 3 月期通期連結業績予想につきましては、下半期において海外子会社における製造費用の増加や当社ガラスびんカンパニーの減産等による利益の下振れが見込まれるため、前回予想を修正しておりません。

注) 上記の予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は今後様々な要因によって異なる結果となる可能性があります。

以 上